インドネシア祭りを開催しました【２０２６年１１月１日(日)】

２０２６年１１月１日（日）、PPI EHIME（在日インドネシア学生協会 愛媛支部）主催の「インドネシア祭り INDONESIA MATSURI 2026」を愛媛大学城北キャンパス グリーンプラザで開催しました。 本イベントは例年、インドネシアの独立記念日（8 月 17 日）に合わせて 8 月に開催してきましたが、昨年度から暑さを考慮して秋季に変更しました。今年は 10 月 25 日の予定が台風のため延期となり、11 月 1 日の開催となりました。

当日はお天気にも恵まれ、青空が広がる中で開会式が行われました。インドネシア側からは、在大阪インドネシア共和国総領事の John Tjahjanto Boestami 氏が代表として挨拶され、愛媛大学からは島上宗子教授、PPI EHIME からは代表の KRESNA 氏がそれぞれ挨拶を務めました。その後、代表者全員で伝統楽器「アンクルン」を鳴らし、お祭りの幕を開けました。

ステージでは、PPI EHIME の留学生 2 人が司会を担当しました。PPI アドバイザーの Erni Johan 氏が活動する「Sama Sama クラブ」による伝統舞踊やアンクルンの演奏、歌のほか、多くのグループが華やかなインドネシア舞踊を披露し、愛媛にいながらインドネシアを存分に感じさせてくれました。また、創作日本舞踊のすみれさんもお越しくださり、美しい日本舞踊を披露し、その後はインドネシアのグループとすみれさんが一緒に「野球拳」を踊り、日本・愛媛とインドネシアの深い繋がりを表現してくださいました。恒例の伝統ゲーム競技では、バキアック（木製のゲタ競争）や椅子取りゲームが実施されました。会場は終始活気にあふれていました。

会場のテントには、留学生とそのご家族が腕によりをかけた数多くのインドネシア料理やスイーツが並びました。愛媛ではなかなか味わえない本場の料理に来場者は列をなしていました。特に肉団子スープの「Bakso（バクソ）」には長い行列ができていました。どのテントの食べ物も、わずか 3 時間ほどで完売するほどの大盛況ぶりでした。また、インドネシアの紹介ブースやバティック（伝統衣装）の着用体験なども用意され、インドネシアの魅力を丸ごと楽しめる内容となっていました。

また、大阪から来賓として会場を訪れた John Tjahjanto Boestami 総領事は、熱気あふれるイベントの様子をご覧になりながら会場を回り、インドネシア料理に舌鼓を打ちながら、インドネシア人留学生たちと温かく歓談されていました。

本イベントの開催にあたり、各方面から多大なるご支援を賜りましたこと、また会場まで足を運んでくださった皆様に、心より御礼申し上げます。

インドネシア人留学生たちが自分たちの力でイベントを成し遂げ、自国の文化や食を紹介し、自信を持ってこの日を終えてくれたことは、今後の活動における大きな弾みとなるものです。これからもインドネシアと日本、そして愛媛がより身近な存在となり、温かい交流が続いていくことを心より願っています。



最後にみんなで記念撮影



インドネシア人留学生手作りのゲート



アンクルンでの祭りの開幕



文化紹介コーナーの留学生達



様々なインドネシア料理



大人気バクソの大行列



すみれさんと野球拳を踊るインドネシアの方々



Sama Sama クラブによるアンクルン演奏